

試合会場レポート

[試合番号]特設1

[開催日]2010/10/31

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]2000

[開始時間]11:03

[終了時間]12:05

[試合時間]1:02

[主審]高橋 直也

[副審]高橋 賢司

[記録員]追田 豊弘

男子：決勝戦

霞ヶ浦高等学校

監督：岩崎 匡史

コーチ：

3	25	第1セット 【0:20】	14	0
	25	第2セット 【0:19】	16	
	25	第3セット 【0:17】	12	
		第4セット 【 : 】		
		第5セット 【 : 】		

勝田工業高等学校

監督：廣澤 学

コーチ：大和田 昭幸

【 】内はセット時間

戦評

4年連9回目の出場を狙う霞ヶ浦高等学校と、春高バレー常連校復活を目指す勝田工業高等学校の対戦となった。

第1セット、霞ヶ浦のサーブで熱戦の火ぶたが切られた。霞ヶ浦は序盤からセッター4番秋庭を中心としたコンビバレーが冴えリードをひろげていく。一方の勝田工は固さが見られ、サーブレシーブなどでミスを重ね差がひろがり、2-8で流れを変えるべく1回目のタイムアウトを取る。しかし、霞ヶ浦は高いブロックでポイントを奪うなど、勝田工の追い上げを許さず最後までブロックポイントで第1セットを奪った。

続く第2セット流れを変えたかった勝田工であったが、サービスエースを取られるなど0-4になりたまらずタイムアウトを取る。ここから勝田工はリズムを取り戻し、8番照沼のブロックや4番青木のスパイクなどで8-9まで追い上げた。しかし、自力に勝る霞ヶ浦は秋庭のトス回しからブロックを絞らせず、コンビバレーがおもしろいように決まり、終盤も一気にポイントを重ねてこのセットも連取した。

第3セットに入ってから序盤から霞ヶ浦のペースで進む。1番廣瀬のスパイクだけでなく、アタッカー全員が着実にスパイクを決め、さらに勝田工のスパイクは高いブロックで阻止し勝田工を圧倒し、3-0のストレート勝ちをおさめた。

霞ヶ浦は茨城県予選を圧倒した実力を、全国大会でも遺憾なく発揮してもらいたい。